

4. 知的障害児生活状況調査（18歳未満）結果

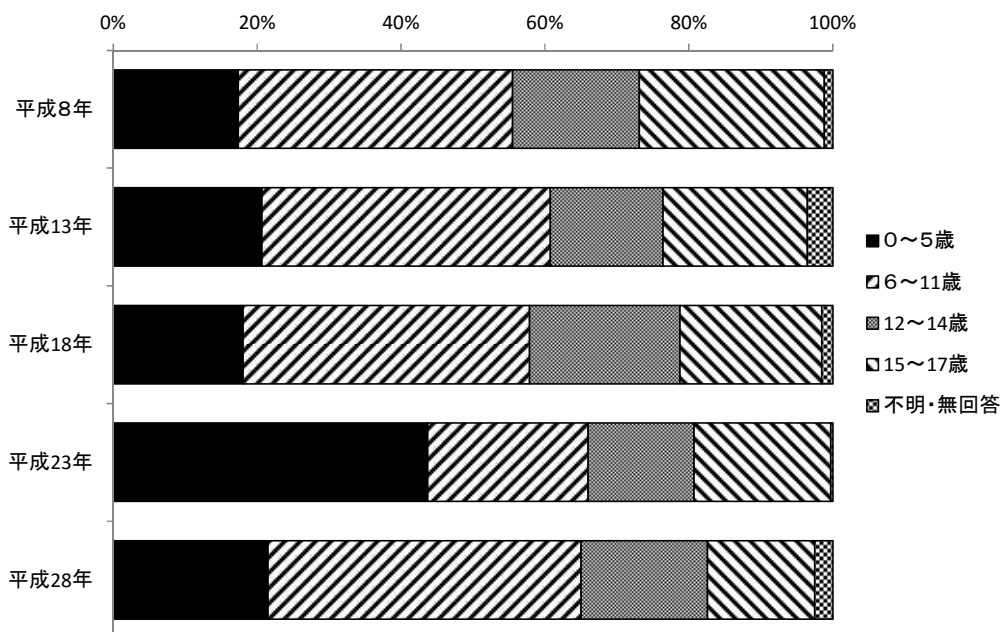
●年齢

年齢構成は、「0～5歳」が21.5%、「6～11歳」が43.5%、「12～14歳」が17.6%、「15～17歳」が14.9%となっている。

問1 年齢

(単位：%)

	平成8年	平成13年	平成18年	平成23年	平成28年
0・1歳	0.7	0.7	0.6	0.9	0.2
2歳	3.0	2.0	2.6	6.7	0.5
3歳	4.4	4.2	2.6	9.8	5.9
4歳	3.9	6.4	6.5	15.9	7.8
5歳	5.4	7.4	5.7	10.4	7.1
6～11歳	38.1	40.1	39.8	22.3	43.5
12～14歳	17.6	15.7	20.9	14.7	17.6
15～17歳	25.7	20.1	19.7	19.0	14.9
不明・無回答	1.2	3.5	1.5	0.3	2.5
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
n	569	598	650	327	408



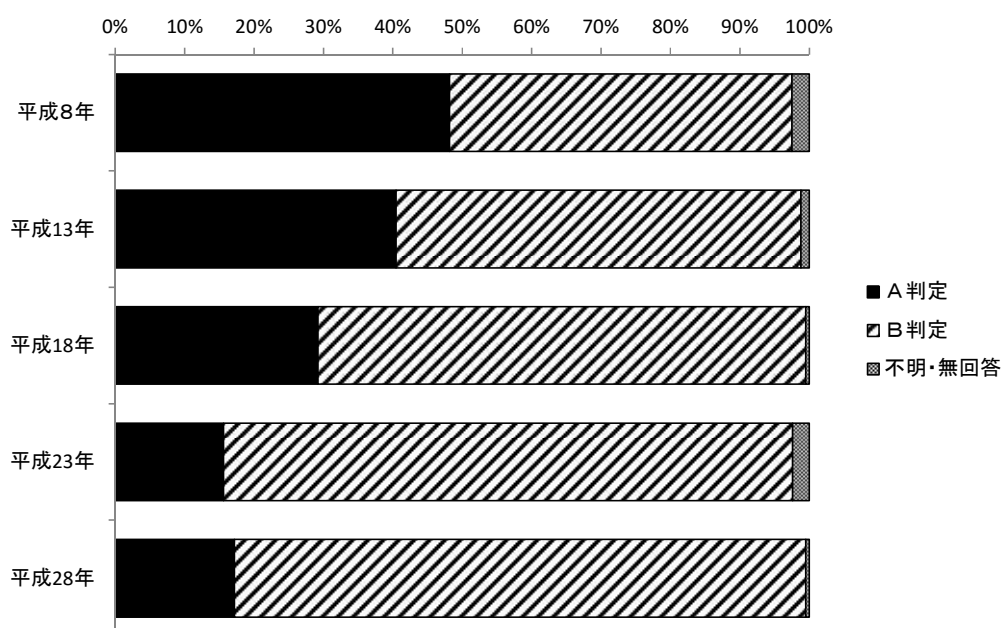
●障害の程度等

療育手帳の判定では、「A判定」が17.2%、「B判定」が82.4%となっている。

問5 療育手帳の判定

(単位：%)

	平成8年	平成13年	平成18年	平成23年	平成28年
A判定	48.2	40.5	29.2	15.6	17.2
B判定	49.4	58.4	70.3	82.0	82.4
不明・無回答	2.5	1.2	0.5	2.4	0.5
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
n	569	598	650	327	408

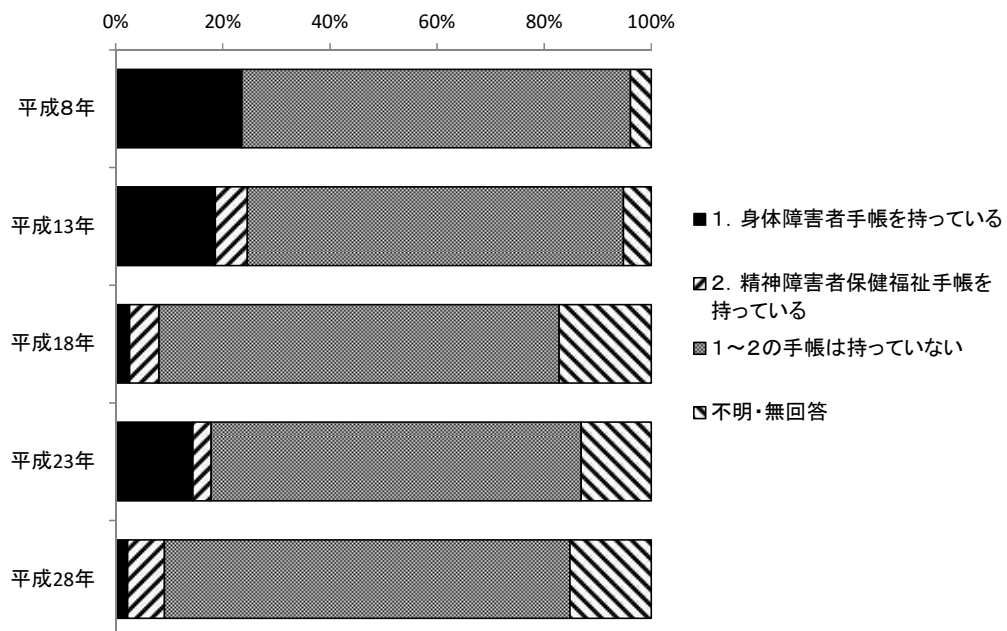


身体障害者手帳等の有無では、「身体障害者手帳を持っている」が2.2%、「精神障害者保健福祉手帳を持っている」が6.9%となっている。

問7 身体障害者手帳・精神障害者保健福祉手帳の有無

(単位：%)

	平成8年	平成13年	平成18年	平成23年	平成28年
1. 身体障害者手帳を持っている	23.6	18.6	2.6	14.4	2.2
2. 精神障害者保健福祉手帳を持っている	-	6.0	5.5	3.4	6.9
1～2の手帳は持っていない	72.6	70.2	74.6	69.1	75.7
不明・無回答	3.9	5.2	17.2	13.1	15.2
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
n	569	598	650	327	408



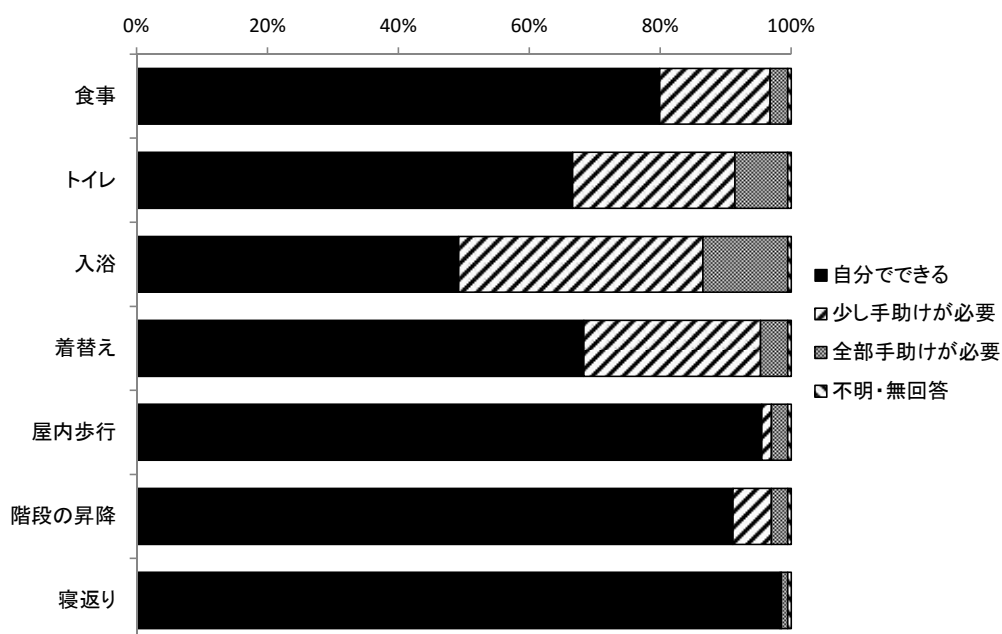
●生活の状況

日常生活動作（IADL）の中で“何らかの介助が必要”（少し手助けが必要＋全部手助けが必要）とする子どもの割合が高いものは、「入浴」で50.3%，次いで「トイレ」が32.9%，「着替え」が31.2%となっている。

問 1 2 日常生活動作の状況

(単位：%)

	食事		トイレ		入浴		着替え		屋内歩行		階段の昇降		寝返り	
自分ができる	79.9		66.7		49.3		68.4		95.6		91.2		98.3	
少し手助けが必要	16.9	19.6	24.8	32.9	37.3	50.3	27.0	31.2	1.5	4.0	5.9	8.4	0.2	1.2
全部手助けが必要	2.7		8.1		13.0		4.2		2.5		2.5		1.0	
不明・無回答	0.5		0.5		0.5		0.5		0.5		0.5		0.5	
合計	100.0		100.0		100.0		100.0		100.0		100.0		100.0	
n	408		408		408		408		408		408		408	



主な介助者は、「母」が90.5%で最も多く、「父」と合わせると96.4%を占めている。

問 1 3 - 1 主な介助者

(単位：%)

	平成8年	平成13年	平成18年	平成23年	平成28年
父 * 1	96.1	3.6	5.9	6.0	5.9
母 * 1		92.2	90.2	92.0	90.5
祖父母	0.9	1.7	0.8	2.0	0.5
兄弟姉妹	0.0	0.0	0.8	0.0	0.0
その他の親族	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
近所の人・知り合い	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
民間有料介護者（家政婦など）	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ホームヘルパー	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9
ボランティア	-	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	1.2	1.4	0.4	0.0	0.0
入所施設、グループホーム等の職員 * 2	-	-	-	-	0.9
特にいない	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0
不明・無回答	1.5	1.1	2.0	0.0	1.4
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
n	332	357	255	50	222

* 1 平成8年は「父」「母」を足した数値

* 2 平成28年追加項目

主な介助者の年齢は、「40歳代」が45.6%と最も多く、次いで「30歳代」が33.5%となっており、介助者の中心は30～40歳代であることがわかる。

問13-2-1 主な介助者の年齢

(単位：%)

	平成8年	平成13年	平成18年	平成23年	平成28年
20歳未満	0.3	0.6	1.2	2.0	0.0
20歳代	4.5	4.9	1.2	4.0	2.8
30歳代	50.6	42.0	36.9	22.0	33.5
40歳代	38.9	28.7	41.4	40.0	45.6
50歳代	4.5	2.9	5.6	14.0	3.7
60歳代	0.3	0.6	0.8	0.0	0.0
70歳以上	0.0	0.9	0.4	0.0	0.5
不明・無回答	0.9	19.5	12.4	18.0	14.0
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
n	332	348	249	50	215

